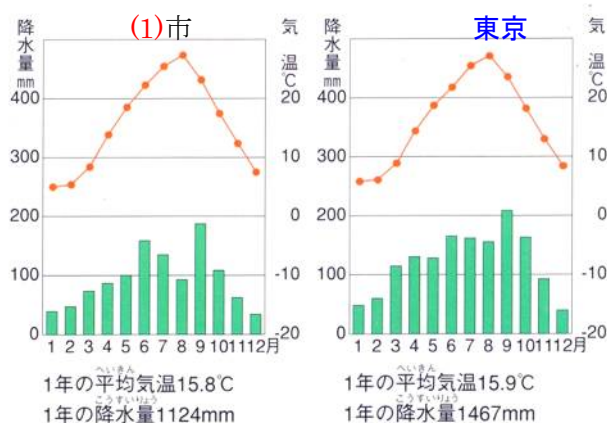
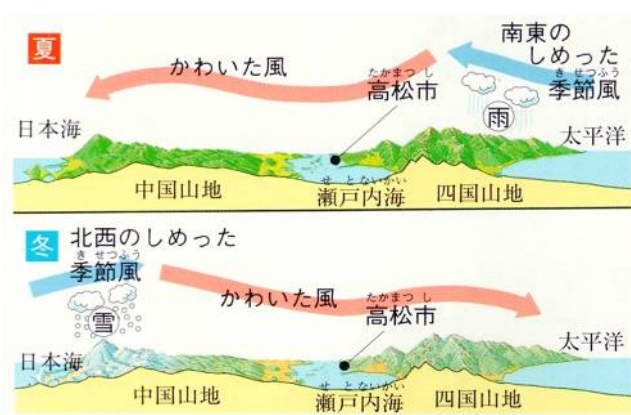


雨の少ない讃岐平野



香川県の県庁所在地の(1)市の気温は、東京とほとんど変わりませんが、降水量がやや少ないことが分かります。



この市がある(2…漢字で？平野)が、北側の(3…漢字で？山地)と南側の四国山地にはさまれているため、夏と冬の(4…漢字で？風)が途中で雨や雪を降らし、ここの平野に入るときには雲のないかわいた風になってしまうのです。

こうした自然条件から、雨が少なく大きな川もないこの地域は、水不足からおこる災害の(5…漢字で？害)を受けることが多かったのです。

たくさんのため池

讃岐平野では、少ない雨をためておくための(6…？池)がつくられてきました。

むかしは、こうした池の数が20000～30000もありましたが、となりの徳島県を流れる吉野川から水を引いた(7…漢字で？用水)が引かれてからは、うめたてられ、



その数は14000ほどに減っています。

この池で有名なのが、1300年ほど前につくられ、お坊さんの(8…？僧名)が整備したといわれる(9…左写真の？池)です。池の大きさは日本一で、自然の地形をうまく利用してつくられているため、堤防が決壊するなどの心配が減って、つくるための費用も少なくなる工夫がなされています。米をつくるために、こうして水をためておいた(9)は、昔のダムの役割をしていたのです。

右は毎年6月に田に水を流すために行われている(9)の「ゆる抜き」のようすです。

ゆるとは、水門をふさいでいる水の栓のことです。



また、吉野川上流(高知県)にある左の早明浦ダムも自然の地形を利用してつくられています。



讃岐平野のゆる抜き



香川用水の完成

1978年に完成した香川用水は、徳島県を流れる(10…川名)から香川県へ水を引いたものです。この川はよく洪水をおこしてあげられることから、(11…人名のような名)の別名でよばれていました。上流(高知県)の(12…？ダム)にたくわえた水を、徳島県の(13…？ダム)をへて、讃岐山脈をつらぬく導水トンネルを通して香川県側に流しています。

讃岐の名物、讃岐うどん

水不足になりがちな讃岐平野では、米が毎年取れるとはかぎらなかったため、水をあまり必要としない(14…作物名)がつくられるようになり、それをうどんにして、主食の米の代わりに食べていました。これが讃岐名物の(15…？うどん)になったのです。しかし、今では外国産の(14)の方が品質も良く値段も安いので、そのほとんどが輸入されるようになり、香川県での(14)の生産は減っています。



塩づくり

かつては(16…料理するときに使う)も讃岐平野の特産品でした。雨が少なく暖かいこの地方の気候が(16)づくりに向いていたのです。しかし、今では(16)は工場で作られて外国から安く輸入されるようになったため、写真のような(16)をつくるための(17…？田)はなくなり、工場用地になっています。

